

よんでネット*

春号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「なぜこうなった？ あの絶景のひみつ」

文・構成 増田明代 監修 山口耕生 (東邦大学理学部准教授)



表紙の写真を見てごらん。空中を走る自転車？ CG加工？ いえいえ。これはボリビアのウユニ塩湖の「絶景」。

この本には、他にもアラスカのオーロラ、アイスランドの間欠泉など絶景がいっぱい。

この絶景がどうやってできたのか、自然のしくみや歴史も解説されている。本の扉をひらいて、素敵な旅に出てみよう！

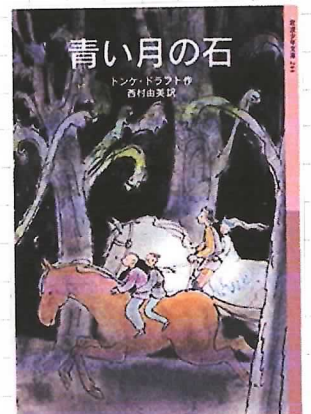
〔45マ〕講談社

「青い月の石」 トンケ・ドラフト作 西村由美訳

月が青くなったら 特別なことが起こるー。おばあちゃんの言うとおりに、幼いころのヨーストのまわりには魔法や冒険、特別なことがたくさんあった。

でも、大きくなった今、ヨーストはうそつきと呼ばれ、クラスみんなにいじめられている。自分の体験したことも信じられなくなったヨーストは、「もう一度、月を青くしてください」と願う。

そんなある日、ヨーストたちの前に黒づくめの不気味な男が現れた。



〔908イ〕

岩波少年文庫

「よみち3人修学旅行」 市川朔久子

小学校を卒業したばかりの春休み。修学旅行に行けなかった3人—体の大きな転校生笑馬、クラス委員でさわやか笑顔の穂、小さくて女の子みみたいな嵐知は旅行に行くことになった。行き先は離婚して遠くて暮らす嵐知のお父さんのところ。嵐知はお父さんから「卒業アルバムに知らない人10人から寄せ書きをせよ」という課題を出されていた。…さあ、どうなる。



[913イ]
講談社

「あぐり☆サイエンスクラブ春 まさかの田んぼクラブ!？」

堀米薫 作 黒須高嶺 絵



[913ホ] 新日本出版社

5年生の学は「野外活動。合宿あり」のチラシにひかれ、塾のサイエンスクラブに入部した。部員は、ママに言われてしかたなく参加した雄成と、負けず嫌いの一匹オオカミ奈々。活動初日、連れてこられた場所は、まさかの田んぼ。3人は、あぐり先生と一緒に米作りを種まきからひとつひとつ体験する。すると、気が付いた。農業は科学。田んぼはミラクルワールドだ! 《夏》《秋と冬、その先に》の全3巻

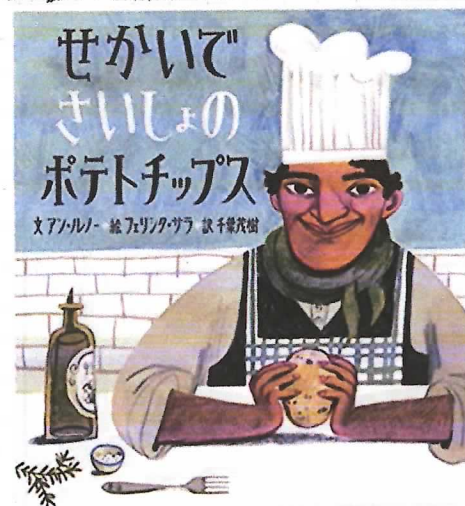
「せがいでさいしょのポテトチップス」 文アン・ルー 絵フェリシタ・サラ 訳千葉茂樹

ジョージ・クラムさんのレストランに、ある日、ひとりのお客さんがやってきた。「ポテトだけを たっぷり食べさせてほしい」

だれだって夢中になる クラムさんのフライド・ポテトを、このお客は三度も突き返す。「ぶ、あつい、味がしない、なまにえだ」

そこで、いたずらが大好きなクラムさんは、よく切れる包丁で…

実話をもとにした話です。



[E・絵本のコーナー]
BL出版